

前橋 青春の会 会報

Vol.10

The Youth Society of Maebashi

2010年7月24日発行



アラバマ日米協会 専務理事 タマラ・モリヤ氏と

茶室「燈心庵」15周年記念
田子会長「バーミングハム市より
招待」思い出を語る

盛夏の候、会員皆様には益々ご清栄の事とお喜び申し上げます。政権が代わり期待をしておりますが、日本経済のデフレ色が強まり個人消費の低迷が続いております。こういう時こそソウルマンの詩文にある「希望と信念と自信を持って」日本を元気にしたいものです。さて昨年5月に蜂巢事務局長とアラバマ日米協会20周年、そして茶室燈心庵建立15周年の記念式典に招待を頂き「バーミングハム市」に行つて参りました。アラバマ日米協会の式典は両国の経済界を代表とする方々を始め、日本国総領事、協会役員、会員の方々が一同に集まり盛大に開



日本名誉総領事 エルマー・ハリス氏(アラバマ電力会長)と

催されました。セレモニーの中で私と蜂巢氏が紹介され、前橋市との友好、茶室燈心庵15周年のお祝い、さらに前橋青春の会に対してのお言葉を頂き感動いたしました。懇親会では15年前にご協力頂いた「バーミングハム市民、日本企業の方々」で語り合いに残る「セレモニー」でありました。私は青春の会を通じ会員の皆様にご指導を賜りながら、数多くの人とのご縁や心の触れ合い、感動を頂き深く深く感謝しております。2010年は八白土氣、庚寅年であります。過去に区切りを付け、未来へと進む年とも言われております。会員の皆様にとりまして健康ですばらしい年になりますようお願い申し上げます。

前橋青春の会 会長 田子 和則



15年前の燈心庵建立式典の資料が大切に保管されている(ポタニカル・ガーデン)



燈心庵の桜 (Tago Tree)

平成21年5月、アラバマ日米協会20周年及び茶室「燈心庵」建立15周年の記念式典に招かれ、会長とバーミングハム市を訪問して参りました。バーミングハムの空港に降り立つ早々、誰が我々の面倒を見るかで引つ張りだこになるほどの歓迎を受けました。アラバマ日米協会の式典、懇親会に参加しました。初めて参加する私を暖かく受け入れていただき、市民の方々との交流をさせていただきました。燈心庵のあるボタニカルガーデンでは、15年前の式典の資料などが展示されており、当時を垣間見る事ができました。また、なによりも多くの資料が丁寧に15年間保存されている、その労力と燈心庵を大切にしている思いをひしひしと感じました。15周年を記念し燈心庵のすぐそばに桜の木が植樹され「Tago Tree」と命名されました。個人的な事になります、



アラバマ日米協会20周年・燈心庵建立15周年記念式典でD. ムーア氏と

先代事務局長の遺骨を少し持参しておりましたので許可を頂き、桜の木の根元に埋めさせていただきますました。これから先、遠くバーミングハムの地で桜となつて燈心庵を見守ってくれるものと思っております。滞在中を通し、バーミングハム市の関係者、市民のみなさん、友人に囲まれ、心のふれあいをさせて頂き深く感動をしております。また感謝申し上げます。

帰国後しばらくしてバーミングハムの友人よりダグラス・ムーア氏の悲報が届きました。初めて会ったのは15年以上前、以来、家族ぐるみで温かいお付き合いを頂いた大切な親友でありました。帰国する際、空港で我々が見えなくなるまでご夫妻で手を振ってくれた姿が最後となってしまいました。その後も何度かメールのやり取りをしていたのでには信じられないとても悲しい出来事でした。二度と会う事はできなくなりましたが、前橋、バーミングハム、両市の友好に対する貢献、我々の友情はいつまでも色あせることはなく、永遠に心の中で生き続けることでしょう。そして、親友であった先代事務局長と2人、燈心庵に寄り添う桜となつて我々を見守ってくれる事と信じております。心よりご冥福をお祈りいたします。

前橋青春の会 事務局長 蜂巣史良



燈心庵の前に植樹された田子桜

青春

サムエル・ウルマン



青春とは人生のある期間を言うのではなく、心の様相を言うのだ。優れた創造力、逞しき意志、炎ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、安易を振り捨てる冒険心、こう言う様相を青春と言うのだ。

年を重ねただけで人は老いない。理想を失うときに初めて老いが来る。歳月は皮膚のしわを増すが、情熱を失う時に精神はしぼむ。苦悶や狐疑や、不安、恐怖、失望、こう言うものこそ恰も長年月の如く人を老いさせ、精気ある魂をも芥に帰せしめてしまふ。

年は七十であろうと十六であろうと、その胸中に抱き得るものは何か。曰く、驚異への愛慕心、空にきらめく星辰、その輝きにも似たる事物や思想に対する欽仰、事に処する剛毅な挑戦、小児の如く求めて止まぬ探求心、人生への歓喜と興味。

人は信念と共に若く疑惑と共に老ゆる、人は自信と共に若く恐怖と共に老ゆる、希望ある限り若く失望と共に老い朽ちる。

大地より、神より、人より、美と喜悅、勇気と壮大、そして偉力の靈感を受ける限り、人の若さは失われぬ。これらの靈感が絶え、悲嘆の白雪が人の心の奥までも蔽いつくし、皮肉の厚氷がこれを堅くとさすに至れば、この時にこそ人は全く老いて、神の憐れみを乞うる他はなくなる。

邦訳 岡田 義夫

The Youth Society of Maebashi



パーミングハム少年合唱団のコーラス風景

6月17日(水) 18:30 日立シビックセンター多用途ホールにおいて、パーミングハム少年合唱団によるフレンドシップコンサートが行われました。パーミングハム少年合唱団は、1971(昭和46)年に創立され、10歳から18歳までの男子40人のメンバーで構成されています。教会音楽ロイヤルスクールの会員として、英国の伝統を受け継ぎ、賛美歌の演奏により多くの教会で奉仕するほか、ゴスペルや民族音楽といった幅広いレパートリーを持つ合唱団です。アラバマ交響楽団をはじめとする全米の著名な楽団との共演も多く、2年ごとに海外公演を行い、これまで



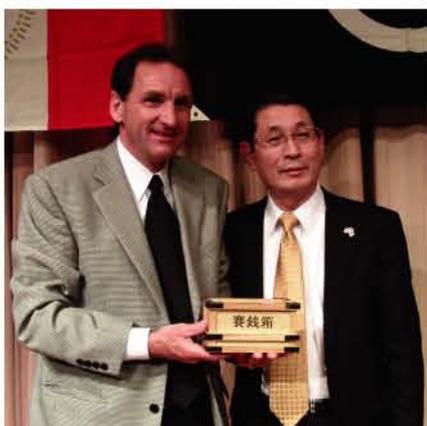
団長のケン・パーク氏と

にイギリス、アイルランド、カナダなど、世界各地で好評を博しています。そして、2009年コーラス日本ツアーを開催するにあたり、前橋市でのコンサートも予定しておりましたが、ご存知のとおり新インフルエンザ対策の影響により前橋市での講演中止を余儀なくされました。そこで、6月17日の日立市講演の際に、当会の田子会長と蜂巢事務局長が歓迎とお詫びに行って参りました。当日はアメリカ民謡や「上を向いて歩こう」「赤とんぼ」青春の詩に団長のケン・パーク氏が作曲した「YOUTH」も披露され、澄んだ歌声を響かせておりました。



パーミングハムの招待選手と高木政夫市長

シティーマラソン 友好親善都市招待選手が来橋
第11回前橋市ティーマラソンが、4月25日開催されました。友好親善都市招待選手としてパーミングハム市からパーミングハム・トラッククラブ(以後BTC)の会長ジョナカ・ケリーさん(38)、BTCの会員マーク・ダンさん(50)、及びブロック・プリンカーホフさん(38)デビッド・ジョイナーさん(34)オーウェン・ブラッドリーさん(30)が来橋されました。当日は晴天にも恵まれ、約6000人の参加者で賑わっておりました。大会後に招待選手歓迎レセプションが



「前橋青春の会」からの贈呈品



前橋華龍太鼓にも初挑戦

前橋テルサで開催され、高木政夫前橋市長を始め、国際交流協会、青春の会等の他、アトラクションとして前橋華龍太鼓振興会の皆様による心に響く演奏も披露されました。前橋青春の会から樺の賽銭箱を記念品として贈呈し、レセプションの最後には、当会の田子会長が来賓者のご多幸と両市の発展を祝い、三本締めで歓迎レセプションを締めくくりました。

The Youth Society of Maebashi

青春の会名譽会員 ダグラス・ムーア氏死去

燈心庵15周年のセレモニーが私の友人ダグラス・ムーア氏司会のもと式典が始まった。彼とは今から17年前私がアトランタの友人のレストランの新築工事を請け負い、その上等式典に彼が招かれ出席したのが始めての出会いである。その後彼は毎週現場の私を訪ね、日本建築の勉強をしていた。ある日彼の奥様のスーザンさんと一緒に現場にきた。レストランの工事も完成に近づいた頃である。私は夫妻を夕食に誘った。その時彼から、バーミングハム市に茶室を建てたいという話があった。彼はバーミングハム市の日本庭園委員会の会長で、設計と工事を私に依頼したいというのだ。しかし私は数ヶ月日本を離れ仕事にあたっていて、やっと日本に帰れると思っていたこともあり一つ返事はできなかった。しかし半年後彼は私を説得するため、アラバマ州知事とバーミングハム市長の親書を持って来日したのである。私の造った作品を見る真剣な眼差しと、彼の熱意に心が震えた。日本文化に対して、バーミングハム市の理解に感銘し私は引き受けることにした。そして2年後の1993年に茶室燈心庵を建立したのである。行政から依頼された仕事という事もあり、完成祝いの釜開きの際には前橋市の藤嶋市長と私がバーミングハム市のアーリントン市長に招待され、その時から両市の友好が始まったのである。1998年には友好親善都市提携も行われ、前橋青春の会も発足した。いわばダグラス・ムーア氏との出会い、両市民、行政の協力の下、現在がある

のである。ムーア氏は茶室15周年記念のセレモニーの4ヵ月後に他界した。彼と一緒に祝った15周年…あのとき彼の笑顔が私の中に残っていることがせめてもの救いだ。彼の魂は前橋の多くの市民の心の中に生きている。ダグラス・ムーア氏の両市に対する数々の貢献に感謝しご冥福をお祈り申し上げます。

親友 田子和則



ダグラス家のリビングでの1枚



ダグラス・ムーア氏と燈心庵の前で

後書き

過去に区切りがつき未来へと進む年と言われている本年ですが、前橋青春の会事務局と致しまして、今までの流れを大切にしながら22年度の事業計画を致しましたのでご報告申し上げます。

- 平成22年度事業計画案
- 一、総会及び記念講演
 - 二、会報発行
 - 三、青春の碑の清掃
 - 四、ホームページ運用、更新
 - 五、バーミングハム市との交流の推進（前橋シテイーマラソン参加協力等）
 - 六、新青春の会との連携

合わせて会員皆様方からのご意見、ご要望を取り入れて新しい会の運営も計画して参りますので、疑問・質問等何でもリクエストにお答えして参りますので、お気軽にご連絡下さい。



建立15年が経過しさがきいてきた燈心庵

入会の案内

前橋青春の会とは・・・

サムエル・ウルマンの詩「青春」や優れた先人たちの残した教え・格言に学び、自己啓発に努め、会員相互の親睦を図ると共に、サムエル・ウルマンの活動の地、バーミングハム市民との民間交流の推進を目的とした会です。

前橋青春の会では、随時賛同者の方を募集しております。お問い合わせ、申込書のご請求は事務局までどうぞ。

〒371-0847 前橋市大友町3-12-9東峰ビル
前橋青春の会事務局 担当 遠藤

TEL. 027-254-5239 FAX. 027-254-5259

E-mail office@youth-society.org
WEBサイト http://youth-society.org/

